老朽原発うごかすな！ニュース

第１０２号

発行・老朽原発うごかすな！実行委員会

［連絡先］
090-1965-7102

6月7日

嬉しかった、ビラのポスティング
町役場の玄関先の外での対応とは
おかしいだろうが！町の姿勢

高浜町に申し入れを

3月のリレー・デモにも4・29の高浜全国集会にも参加できずにいた中でのGX法成立など、もどかしい想いを抱えながら、この日、ようやく高浜現地行動に参加できた。

いつも、バスを用意して下さっているので参加し易くて助かっている。京都駅に集まったのは23名。今日は、マイクロバスでの往復となる。梅雨の合間の晴れとなったのは幸運かな。

行きのバスの中での自己紹介では、様々な人生を生きてきた人たちの苦労話や沖縄、原発、入管法などへの取り組みが語られていて中身の濃い話が続いた。ご自分の仕事がらみでの老朽原発に関する言及などもあって、興味深い。

その後、この日の取り組みについて説明があり、①高浜町内のデモ行進②高浜町役場への申し入れ、③参加者全員によるビラのポスティングの3つが挙げられた。

現地到着後、①のデモでは、ほぼ全員（約50名）が幟や旗を持ったが、この大きな幟の付いたポールが重い！まっすぐに幟を持てていないからだろうか、私の幟は度々電柱の出っ張りにひっかかってしまう。でも、元気なシュプレヒコールの呼び声に励まされて頑張りました。②の町長に高浜原発1号機、2号機の再稼働同意を取り消すよう求めた申し入れ行動では、町役場の立派な建物に圧倒される、というより呆れる。一方、申し入れのために訪問した代表者4名を中に入れずに町役場玄関前で応対した職員の態度は立派さとは程遠い。

若狭高浜駅からデモが出発

私は今日、ビラのポスティングを手伝えるというのが一番嬉しかった。これまで、老朽原発うごかすな！実行委員会の人たちが定期的に現地に通っては地道にビラの配布を続けていたこと、その結果、地元の人たちが少しずつ原発に対する本音を語り始めたことなどうかがっていたからだ。でも、慣れない参加者に戸別配布をしてもらうのも大変だ。迷子が出ないように詳細な町内地図を用意し、メンバーを配置し、車での送り迎えまで手配して頂いた。玄関までの階段の下りに要注意とまでアドバイスも。何から何まで、何という心配り！　ただ頭が

高浜町役場に向かってシュプレヒコール

下がる思いでした。この日、原発のみならず、私たちの身体も老朽化しているとの冗談が出ましたが、まさにその通り。それでも、沈黙は同意と同じと心に刻んで抗い続けましょう。

（京都市　伊藤多惠子）

6月7日

事故が起これば、若狭の町や県にとどまらない！

老朽原発の危険性をとことん訴えよう

高浜町内をデモ。晴れてよかった。

「老朽原発うごかすな！実行委員会」が主催する現地のデモには何回か参加しています。毎回感心するのは、各町の公共施設の立派さで、町役場の本庁舎ひとつをとっても、どこぞの御殿か、とみまがうばかりです。わずか1万人に満たない町でこれができるのは、原発がらみの交付金のおかげで、この高浜町では2019年度）を上回っているそうです。

今回の行動では、はじめてチラシの各戸配布をお手伝いしました。担当した地区は、和田浜海水浴場のそばで、風光明媚なリアス式海岸線が望めるところです。古くからのふつうの民家に、民宿と単身者用のアパートが点在していました。民宿は、おもに魚釣りや海水浴客が相手で、一方アパートのほうは、比較的長期の、たとえば原発関係の工事や定期点検に従事する人たちのためのものだと思いました。各地の原発定期点検を生業としていて、5年ほど前に亡くなった旧友もこういうところで寝泊りしていたのだなあと思うとそれなりに感傷。

木原さんから町職員に申し入れ書を

65歳以上の人口比30%の超高齢化の町だから、ということもあり、出会った人とは、こころよくあいさつを交わしました。また、犬に追い払われることはありませんでした。治安がいいので、ペット犬はいても番犬は必要ないのでしょう。

原発、再処理、処分など施設の建設、稼働（再稼働）について、県と市町村の同意がいりますが、目の前に吊るされ、そこで得られる利権のことを思うと、やはり複雑な気持ちは捨てきれません。

しかし、いったん過酷事故が起こると、若狭の1町や福井の1県と隣県だけの問題ではなく、国全体、あるいは世界中が危機的な状況にさらされることは、チェルノブイリ、スリーマイル、フクシマで明らかです。

配管の薄肉化、ケーブルの絶縁低下、圧力容器の中性子脆化など、定期点検では見つけにくいところを抱えている老朽原発のもつ危険性は、とことん訴えていかなければならないと思います。

（一市民　みやもとよしと）

6月16日、今度は舞鶴市に申し入れ ご参加ください！

7日の高浜町に続いて実行委員会では、16日に、高浜原発に最も近い舞鶴市に「再稼働容認」の取り消しを求める申し入れを行います。

集合場所、集合時間など、詳しくは、京都車両は橋田（090・5676・7068）、大阪車両は松原（090・9540・1959）、滋賀車両は木戸（090・9213・7395）にお問い合わせ、申し込みをお願いします。